

秋田県立矢島高等学校 中期ビジョン（5か年計画）

I 本校が目指す5年後の姿（具体的な目標）

1 学校の現状や課題

現 状

- (1) 大正15年4月に矢島町立農業補習学校として創立、平成28年に創立90周年を迎えた伝統校である。
- (2) 平成21年度より由利本荘市立矢島中学校と校舎一体型中高連携校としてスタートし、中高連携のパイオニア校としての役割を担っている。
- (3) 平成30年度よりコミュニティ・スクールとして、地域や保護者との連携強化を図っている。
- (4) 募集定員60名の普通高校であり、多様化する生徒の進路希望実現のため、2年次より未来探究・地域創造の2コースを設けている。
- (5) 「地域とともに歩む学校」として、地域と連携した様々な学習活動を実践している。
- (6) 由利本荘市立矢島小学校の移設により、小中高一体型校舎の整備が予定されている。

課 題

- (1) 地域活性化に寄与できる魅力ある学校づくりと情報発信
- (2) コミュニティ・スクールによる学校と地域の連携強化
- (3) 小中高連携校による教育活動の推進

2 学校を取り巻く将来の状況の予測

- (1) 令和3年度 第七次秋田県高等学校総合整備計画後期計画開始（～令和7年度）
 令和4年度 新1年生より新高等学校学習指導要領開始
 令和6年度 矢島小中高連携校開始
 令和8年度 創立100周年

- (2) 近隣3中学校（矢島中、鳥海中、由利中）の卒業予定者数の減少（※令和2年5月1日現在）

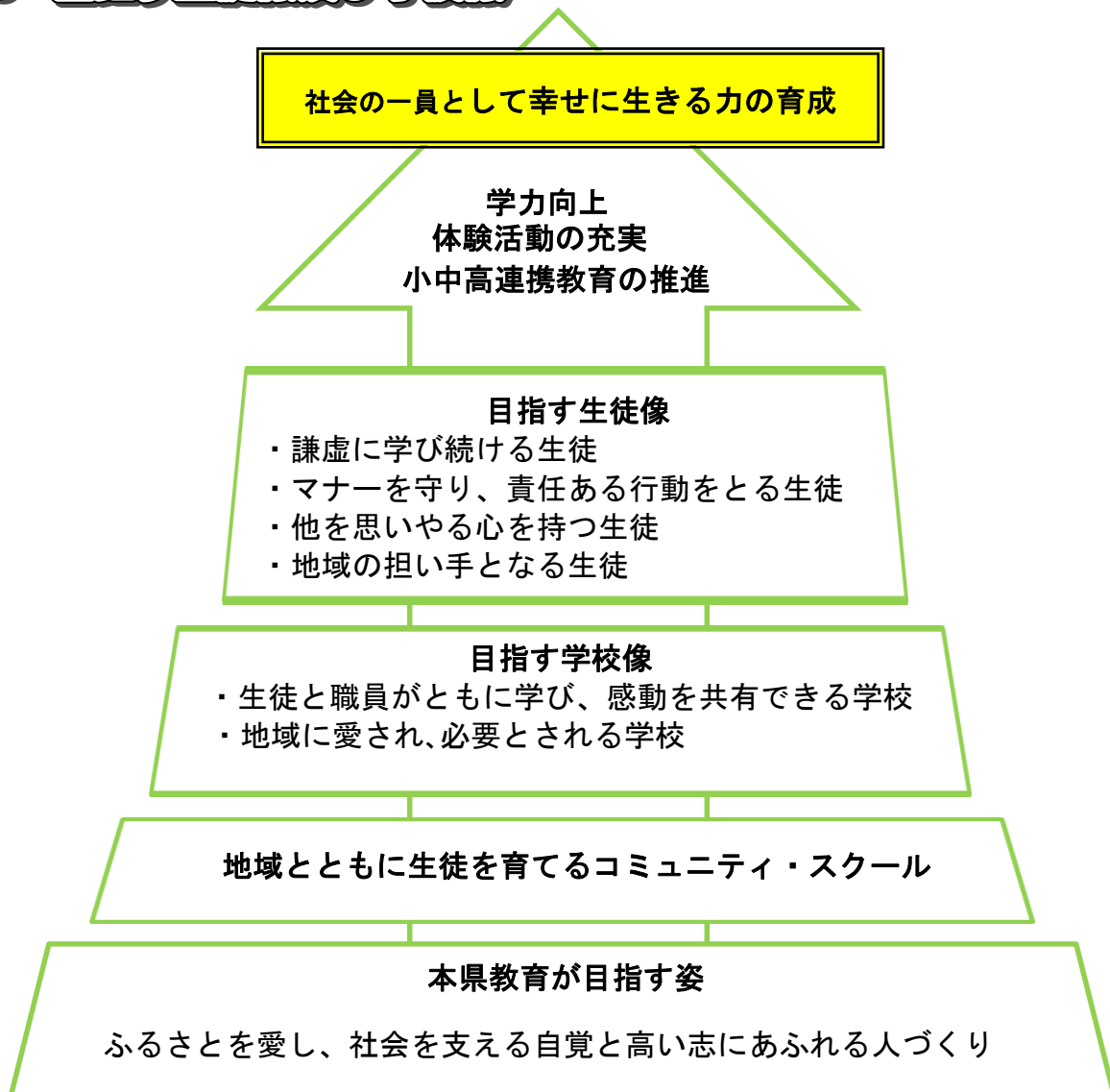
2020年（令和2年）3月卒93名 …… 2027（令和9年）年3月卒59名 …

	1	2	3	4	5	6	7	8
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年
矢島中	31	24	30	34	29	24	20	26
鳥海中	28	24	23	19	16	19	14	11
由利中	34	29	38	45	26	36	29	22
計	93	77	91	98	71	79	63	59

- (3) 矢島鳥海由利地区の少子高齢化の進展（※令和元年9月30日現在、県平均は令和元年10月1日現在）

年少人口（0～14歳） 5.1%（県平均 9.8%）	➡	減少加速
老年人口（65歳以上）43.6%（県平均37.7%）	➡	増加傾向

3 目指す生徒像及び学校像



4 5年間を通しての具体的目標

- (1) 生徒を伸ばすきめ細かな学習指導を推進します。
- (2) 挨拶の励行と心に響く生徒指導を推進し、
退学者数ゼロを目指します。
- (3) 自己実現を図る進路指導を推進し、
卒業時の進路決定率 100%を目指します。
- (4) 年複数回の研修会を行い、教師力を高めます。
- (5) 小中高連携教育を推進します。
- (6) 情報発信に努め、地域に根ざした活動の一層の充実を図ります。
- (7) コミュニティ・スクールとして、地域とともに生徒を育てます。

II 具体的な取組等

生徒を伸ばすきめ細かな学習指導

- ・授業3カ条（生徒と教師の授業ルール）の定着 ※別ファイル参照
- ・授業のユニバーサルデザイン化
- ・授業内での言語活動の充実と効果的な主発問の工夫
- ・地域の特色を生かした体験学習の進展
- ・生徒の思考力を伸ばす朝読書の活用

挨拶の励行と心に響く生徒指導

- ・明るい挨拶、さわやかな整容、規律正しい生活の励行
- ・いじめ撲滅キャンペーンの実施
- ・情報モラル教室の開催（互いの人権尊重と良好な関係づくり）
- ・生徒の心に寄り添う個人面談・教育相談、生活アンケート年3回以上
- ・道徳教育振り返りシートの活用

自己実現に向けた進路指導

- ・進路目標を明確にする個人面接や外部講師による講話等の充実
- ・資格情報の発信及び資格取得対策、進学等の補習や個別指導の徹底
- ・外部の学校関係者による面接指導の充実
- ・キャリア・パスポートとキャリア教育CAN DOリストの活用

教師力を高める研修

- ・日常的な互見授業の実施
- ・生徒による授業評価の定期的な実施とフィードバック
- ・教員研修会の充実

小中高連携教育の推進

- ・中高連携行事の充実（鳥海山登山、避難訓練他）
- ・小学校の授業参観と行事への参加及び日常的な中高の授業参観

情報発信と地域の活性化の核づくり

- ・地域の自然・歴史・文化を学ぶカリキュラムの充実（鳥海探究）
- ・地域に密着したボランティア活動、地域主催行事への積極的な参加、学校行事の地域公開
- ・地域産業への提案、協力（やしまブランディングプロジェクト等）
- ・ホームページやSNSでの情報発信の強化

コミュニティ・スクール

- ・学校運営協議会WGでの協議の充実による地域連携の強化
- ・矢島高校サポーターバンクの活用